

広報
しんじょう

7
2004

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.559

ISO14001

14年7月認証取得



新庄初の観光サクランボ園 (6月26日/泉田往還・中川果樹園)

地域スポーツクラブ誕生2
合併協議会廃止へ4
アジサイの見ごろは7月5
シリーズ行財政改革6
江戸だより/いきいき新庄人9
しんじょう見聞録10
7月のお知らせ12
豊かな心をはぐくむ14

総合型地域スポーツクラブの本格始動に向けて 新庄21地域スポーツクラブ誕生

総合型地域スポーツクラブは、老若男女、競技歴を問わず、だれでも参加できるスポーツ活動を地域全体で支えていこうというもの。すでに全国で830以上ものクラブが発足しています。新庄市でも、18年度の本格スタートに向けた試行事業として「新庄21地域スポーツクラブ」が誕生。スポーツ参加の新たなスタイルを目指しています。



スポーツ教室から スポーツクラブへ

今、学校や職場、競技団体といったこれまでの枠組を越えて、地域住民が自らの手で、新しいスポーツ参加の仕組みをつくりあげようという試みが全国で行われています。

新庄市でも、これまでスポーツの動機づけを目的とした短期間の教室を開催してきましたが、子どもから大人まで参加者が自主的に、生涯を通じて自由に参加・運営できる新たな仕組み作りを模索しています。

地域に開かれたスポーツ 活動を目指して

少子高齢化で競技スポーツ人口が減り、スポーツ少年団や部活動だけでは子どもたちが十分にスポーツを行うことが難しくなっています。

また、成人や高齢者の方々が元気な生活を送るためにも、スポーツには大きな期待が寄せられています。

そこで、身近な地域にスポーツクラブという大きな入れ物があれば、だれでもいつでもスポーツや

文化活動を楽しむことができます。年代や技術の枠を越えた指導や交流の場としての役割が期待されています。

本格スタートは十八年

今年五月、総合型地域スポーツクラブの試行事業として「新庄21地域スポーツクラブ」がスタートしました。

昨年「総合型地域スポーツクラブを考える会」を発足し、参加者からご意見をいただきながら準備を進めてきました。今回のプログラムも、「考える会」会員が中心となって考案したものです。

現在の会員は三十六人。メニューは、午前中に運動する「健康コース」、夜間の「貯筋コース」、子どもや親子向けの「親子ふれあいコース」の三コース二十九種目。いずれも、軽スポーツを楽しみながら健康づくり・仲間づくりができるメニューです。

会員の意見や声で運営し、いろいろな意見を取り入れ、必要があればメニューなどを随時変更しながら進めていく予定です。

総合型地域スポーツクラブとしては、十八年四月からの本格スタートを目指しています。



▲気分は最高!



▲途中で脈はくチェック



▲晴天に恵まれウォーキング



新庄21地域スポーツクラブ 会員募集中

～生活の中に楽しみながらスポーツ、そして健康づくりを～

クラブでは、体力や年齢に合った楽しいスポーツプログラムとして

「健康コース」「貯筋コース」「親子ふれあいコース」の3コース、29種目を用意しました。

1年間を通して、生活の中にちょっとスポーツを取り入れるだけで、毎日をいきいきと過ごし、

健康づくり、仲間づくりができます。これからスポーツをやりたい方、運動不足が気になる方、

一人でもグループでも大丈夫。気軽にご参加ください。

皆さんのライフスタイルに合わせコースを選ぶことができます

健康コース	健康が気になる人、スポーツをやりたい人、初心者でも安心です。指導者は、公認地域スポーツ指導員、地域スポーツリーダーがていねいに指導します(年会費4,000円)
貯筋コース	少し筋力強化を意識した運動です。夜間中心のコースです。仕事が終わってからでも参加できます(年会費4,000円)
親子ふれあいコース	親子で一緒にスポーツにふれましょう。夏は水泳、冬はスキー、自然の中で楽しいスポーツが見つかります(子どもは小学3年以上/年会費1人2,500円)

※すべてのコースに参加することもできます。種目は、水中ウォーキング、水泳、バドミントン、ソフトテニス、スキーなど

※会員にはメディカルチェック(簡単な体力測定)を行いますので安心して参加できます。

◎申し込みなど詳しくは、新庄21地域スポーツクラブ事務局(市体育館)へ。☎22-0681/ファクス22-0691

eメール sports@city.shinjo.yamagata.jp

地域スポーツクラブの特徴は？

- 多世代 地域住民のだれもが参加できます
- 多 種 目 多様な楽しみ方ができます
- 自主運営 会員の自主性が生かされます
- 一貫指導 長期的・計画的な育成ができます
- 受益者負担 クラブ員の会費をもとに運営
- 拠点施設 会員の継続的な活動を確保



市体育館

参加者の声から

- さわやかな季節のウォーキングが予想以上に楽しかった。できればこれからも続けたい。
- からだにいいことはわかっていても、一人ではなかなかできないので、みんなと楽しく歩くことができて良かった。
- からだを動かして体力をつけた。いろいろな種目に参加してみたい。時間のとれる範囲でがんばりたい。
- 広報を見て面白そうだと思い参加しました。
- 健康が気になり出し、無理なくスポーツを楽しみたかった。
- 腰痛予防になるスポーツがないかなと思って参加しました。
- 運動不足のため少しでも体を動かせたらと思っ・・・。
- 地域の方々と気軽に軽スポーツ・運動を通して仲間づくりや健康の増進につながればと思っています。
- ここ十年位スポーツを全然してなかったで、これからは健康のために軽スポーツをやってみようと思いました。
- 体力の維持とストレス解消、そして仲間づくり

新庄市・舟形町合併協議会廃止へ

六月二十二日、新庄市議会と舟形町議会において、新庄市・舟形町合併協議会の廃止が可決されました。昨年八月十一日の協議会設置から約一年、平成十三年十二月の最上市町村合併問題研究会の設置から約二年半にわたり続けられてきた合併協議に終止符が打たれました。



▲高橋市長に「合併白紙」を申し入れる伊藤町長(6月10日/市役所)

住民投票では反対多数

新庄市・舟形町合併協議会は、昨年八月の設置から今年一月まで六回にわたり順調に協議を重ね、協定項目の約三分の一が決定されていました。

しかし、今年二月の舟形町長選挙では、合併に反対する伊藤氏が無投票当選。一方、舟形町議会は合併を推進する議員が多数を占め、町長と町議会とでねじれが生じ合併協議ができない状況にありました。

このため、市は舟形町に対して、「現行法の期限内に合併できるよう速やかに意思を一本化してほしい」と要請。舟形町はこの求めに応じ、合併の判断を住民投票に委ね、結果は、町民の七十三％が合併反対というものでした。

この結果を受け、六月十日、舟形町長は正式に合併しない旨の申し入れを市長に行いました。

合併を断念 協議会は七月末で廃止

これまで市と舟形町は、合併を目指し調整を進めてきましたが、市は、舟形町の多数の住民が市との合併を望んでいない状況では、今回の合併は見送るべきであるという結論に達しました。

このような経過と状況から、合併しない方向での手続きに入り、六月二十二日、市議会に法定協議会である新庄市・舟形町合併協議会の廃止を提案。全会一致で可決され、七月三十一日をもって合併協議会は廃止されることになりました。

品格ある力強いまちへ

五月に合併新法が制定され、十七年四月以降は合併特例債や補助金などの支援措置はなくなりますので、今後の合併はハードルが



高くなります。

舟形町の住民の意思により終結した市町の合併協議。今後、人口の減少や地方交付税の削減など、厳しい財政状況が予測される中、どのように住民サービスを提供していくのか、それぞれの市町で検討していくこととなります。

市は、財政再建に向け全力を尽くしながら、最上地域の政治、経済の中心都市として、品格ある力強いまちづくりを進めていきます。

7月、8月開催予定の「区長と市長とのまちづくり会議」などでも合併の経過説明を行います。



紫陽花

アジサイの見ごろは7月下旬まで

この季節になると雨露を滴らせ美しいたずまいを見せるアジサイ。市内のいたるところで見かけることができます。見た目の可憐さとは逆に、厳しい自然の中でも順応性に富む、たくましい生命力を持っています。雪国「新庄人」の気質を象徴する最もふさわしい花であることから、昭和59年に市の花に選ばれました。新庄でのアジサイの見ごろは7月上旬から下旬にかけて。梅雨の晴れ間にアジサイ巡りはいかがですか。

◆あじさいの杜

東山公園の陸上競技場北側の約2haに34種約4万5千株のアジサイが咲きそろいます。7月4日には、あじさいを育てる会主催の「あじさいまつり」が開催されました。下旬まで楽しむことができます

◆あじさい園

最上公園西側にあじさいを育てる会の手入れにより2万3千株のアジサイが咲き誇ります

◆新庄ふるさと歴史センター付近

最上公園の周囲を彩るように咲きます

◆アビエス

駅前ふれあい広場の周囲を彩ります

◆市役所前

アジサイが来庁者を出迎えます

◆エコロジーガーデン「原蚕の杜」

歴史ある建物と多くの樹木が美しい園内をアジサイが彩ります

◆市民プール

アジサイが涼しさを演出しています

◆浄化センター

大きい株のアジサイが見事に咲き誇ります

◆桧町

2つの小桧室公園と東西南北にのびる大通り両側に咲きそろうアジサイは見事です。南側の入口の橋の名は「紫陽花橋」です

◆泉田小学校

桜通りに面して咲きそろい、子どもたちを迎えます

◆八向公園あじさい花園

雄大な最上川の流れとの対比が鮮やかです



▲あじさい園(最上公園)



▲ふるさと歴史センター付近



▲エコロジーガーデン「原蚕の杜」



▲市役所前

これまでの経過

13年12月	最上市町村合併問題研究会発足
14年5月	新庄・最上市町村合併問題研究会(市町村長で構成)設立
9月	8市町村で住民アンケート開始 全体で合併が必要だと思う人は44% 必要だと思わない人は30%
9月～11月	合併に関する懇談会・意見交換会(新庄市)
15年2月	新庄・最上合併検討協議会設立 (市町村長・議長で構成。当初7市町村、 鮭川村加入で8市町村に)
3月	合併重点支援地域に指定される
6月	第5回新庄・最上合併検討協議会で6町村 が法定協議会への不参加を表明
7月	新庄・最上合併検討協議会解散 区長と市長のまちづくり会議で説明(新庄市) 市町村合併地域説明会(舟形町)
8月	新庄市議会・舟形町議会で法定協議会設置 を議決、新庄市・舟形町合併協議会発足
9月	舟形町議会が議員発議の住民投票条例 制定案を否決 鈴木勝治町長が勇退を表明
10月	舟形町の住民グループが住民投票条例の 制定を求めて署名活動開始
12月	舟形町議会、直接請求の住民投票条例案を 全会一致で可決
16年2月	市との合併反対の伊藤和昭前助役が 無投票で町長に初当選 法定協議会、協議を中断
4月	伊藤町長が住民投票の実施を決定
5月	舟形町で住民説明会開催
6月	舟形町住民投票を実施 結果は住民の73%が合併反対 舟形町長が新庄市長に住民投票の結果を報告、 合併の白紙差し戻しを申し入れ 新庄市議会・舟形町議会において合併協議会の 廃止を可決

※新庄市・舟形町合併協議会、市合併推進課は7月31日をもって廃止します。

市民に開かれた行財政改革を進めています

市は「小さく、元気な市役所」をめざして行財政改革を進めています。
市民に開かれた、市民とともに進める行財政改革にしたいと考えており
5月号からシリーズで、現状や考え方をお知らせしています。
市民の皆さまのご理解・ご協力のもと、職員一丸となり
一日も早く財政危機を乗り越え、確かな展望を開いていきます。
今回は、市民の方から寄せられたご意見と、行財政改革をめぐる動きを紹介します。

ご意見

● 何としても市財政は再建しなければならず、全市民が再建に取り組みなければならぬが、すべてカットではなく、切り下げるもの、継続するものを精査すべきです。特に、福祉関連の財源は確保してもらいたい。

● 思い切った行政改革が求められています。市議会議員を大幅に削減し、議員がしていることを自治会に委ねることが本来の市民のプラスになるのではないのでしょうか。また、職員を削減し民間に委ねて、事業はマインナスにしないでやっていけないものではないでしょうか。

市から

厳しい財政状況の中で、施策の重点化・集中化は特に重要となっています。効率的な行政運営システムの整備を今回の行財政改革大綱の柱の一つと位置づけ、適切・迅速な意思決定のための改善を行っています。

ご意見

● 市民一人ひとりが正確に判断し、自分に何ができるかを考えなければならぬ時期だと思えます。そのためにも、今、財政がどんな状況なのか、わかりやすく隠さずに教えてほしい。

“さわやか運動”

～「お客さま本位」の意識を高める～

行政改革市民委員会からの提言

「市民とのパートナーシップを築く基盤は市民と市役所の信頼関係であり、職員の接遇(対応)が大事」

職員の対応をさらに向上させるため、「さわやか運動」を実施します。適切な言葉づかいや電話対応などを書いたハンドブックを職員に配り、対応の基本を改めて確認するとともに、わかりやすい説明と迅速な処理対応を目指します。

○実施期間 7月12日～8月11日

ご協力をお願い

期間中、市役所や市施設にお出でになった方に、職員の対応についての採点をお願いします。ぜひご協力ください。皆さんの採点結果は今後の改善に役立てます。

ホームページに掲載しています。どうぞご覧ください
行財政改革大綱、16年度実施計画、行革庁内情報紙(仮称/行革通信)、「さわやか運動」実施要領など

意してお知らせしていきます。

ご意見

● 市民が考える「行財政改革」を聴き、市民の意見で良いものは実行すべきです。広報も、市からの提示だけでなく、市民からの声・意見が掲載されると市民の関心が深くなるのではないのでしょうか。

市から

● 市民の理解を得ながら行財政改革を進めるため、市民への情報提供と市民の意見募集を意識しながら進めています。

● 特に、財政状況は折にふれ広報でお知らせするようにしています。が、今後、一層わかりやすさに注

ご意見

● できることからやるというが、本当にやっているのでしょうか。まやかではなく目に見える効果を期待します。人員削減については、国では削減したと言いつつ財団などに移しただけだが、新庄ではそのようなことがないようしっかりとやってもらいたい。人員はただ減らすだけでなく、本当に忙しい部署もあるので、バランスの取れた体制にしてもらいたい。

● 職員数の削減や給与の削減など数字で現実のものとして示され、「や

今回は、広報委員の皆さんのご意見を紹介しました。行財政改革に関するご意見をお寄せください。
 ©総務課行政改革推進室 ☎内線215・218 / eメール soumu@city.shinjo.yamagata.jp

公共施設の「管理運営」に高い関心

～施設管理検討会を開催～

市は、「指定管理者制度」という新しい制度を活用して公共施設全体の管理運営を市民団体や民間企業にまかせ、サービスを維持しながら経費を削減することを検討しています。

制度の活用は、市と市民が安心して施設管理と事業運営をまかせられる団体があるかどうかにかかっています。制度を理解していただき、活用の可能性を探るため、市民とともに検討する会を開催しました。

検討会には、NPOなどの団体で活動している市民など30人の方が参加。熱心な質疑が続き、市民の関心の高さがうかがわれました。

「指定管理者制度」について詳しく知りたい場合は「出前講座」も行いますので、ご連絡ください。



▲施設管理検討会を開催(6月25日/市役所)

つてる」ということが伝わり民間の私たちの励みになりました。

市から

財政再建のためには、人件費の抑制が大きなポイントの一つです。事務事業の絞り込みや民間への委託などにより職員数を減らしていきます。

ご意見

●とても親身に接してくださる職員もいて感謝していますが、私たち市民から見れば、行政は昔でいうお上のように感じ、市役所には遠慮しながら伺うことが多い。行政側も元をただせばみんな一市民。とにかく

エコサマー運動実施中

環境・経費の両面からエコサマー運動を始めて今年で5年目。冷房の室温設定を28度以上とし、なるべくエアコンを使わないなどの取り組みを行っています。



取り組みのポイントは、例年一番多い夏の電力使用量を抑えることです。来客の方にもご迷惑をおかけしていますがご了承ください。

また、暑さ軽減のためノーネクタイで仕事をしています。市主催の会議にはノーネクタイでご出席ください。

●運動期間 6月21日～9月23日

●運動の成果 (この3年間の本庁舎の電力使用量と電気料金)

13年度	369,078Kwh	927万円
14年度	342,100Kwh	793万円
15年度	308,126Kwh	665万円

安心して何でも聞いてという雰囲気、気が大事であり、それにはまず笑顔。次に、担当外でも仕事の申しに通じた臨機応変な対応をお願いしたい。

市から

対応についてはこれまでも改善に取り組んできており、改善の指摘とともに前より良くなったという声もいただけるようになっていますが、なお一層改善するため、今年七月から八月にかけて「さわやか運動」を実施します。

ご意見

●文化的には大切だが、文化・社会教育施設の維持管理費は少なくないと思う。思い切つて開館は土日だけにしたり、市民との協働センター的機能を持たせてはどうか。建てるのではなく、あるものを利用した柔軟な使い方が必要です。

市から

四月から、各館の休みが重ならないようにしながら、市民プラザなどの市施設の休館日を増やしました。また、一部の施設は、土・日曜日の日直業務を委託から職員の直営にしました。

新庄まつり250年祭

仙台駅PRキャンペーン

おいしい山形デスティネーション・キャンペーンは、今年7月から9月にかけて山形県とJRグループが展開する大規模な観光誘客キャンペーン。新庄市でもこれに合わせ、来年の「新庄まつり250年祭」のPRを行います。

- とき 7月24日(土)～25日(日)午前10時から
ステージイベント／午後4時まで、物産／午後8時まで
- ところ 仙台駅構内イベントステージ
- 内容 まつり囃子演奏、民話の語り、特産品販売
まつりチラシ・グッズ・観光パンフ配布、パネル展



懐かしい蒸気機関車

陸羽西線SLもがみ号

昨年、31年ぶりに新庄～酒田間を運行した「SLもがみ号」。今年も、最上川ラインの陸羽西線(新庄駅～酒田駅)をSLが走ります。

- とき 7月17日(土)～19日(祝)
- 陸羽西線1日1往復運行
新庄駅→酒田駅 酒田駅→新庄駅
9:01 11:21 13:32 15:15



▲昨年9月運行のSLもがみ号

◎詳しくは、商工観光課まつり物産交流室。☎内線251・252

栄光をたたえて

「第33回山形県母と子のよい歯のコンクール」で優秀賞を受賞

高山美紀さん・玲菜ちゃん(蛇塚)

「山形県母と子のよい歯のコンクール」は、3歳児歯科健康診査を受けた幼児とその母親を対象として、その健康と努力をたたえ、歯と口の健康を広めようといわれています。審査の基準は、歯と口腔が健康であり、歯並び・かみ合わせが正常であることなどです。今回は、15年度に受診した県内の「母と子」36組が受賞しました。

新庄市では、1歳6カ月・3歳児ともにむし歯有病率は減少傾向にあります。



▲食後は親子で楽しく歯みがきしています

ありますが、3歳児の一人あたりのむし歯数は県内で3番目に多い状況にあります。

健康メモ

夏にご用心! 食中毒

高温多湿の夏には食中毒が多発します。O157など腸管出血性大腸菌感染症も、県内過去5年の発症の80%が6月から9月にかけて集中しています。この病原菌は、牛、羊、鹿などの大腸に生息しており、汚染された食品や水を人が飲食することにより感染します。

予防法

- ①食品を十分に加熱すること(中心部まで75℃以上で1分以上)
- ②手は石けんで、調理器具は洗剤で水道水を流したまま十分に洗うこと。感染した人の便からの二次感染予防のため、排便・おむつ交換後の手洗いも同様です
- ③井戸水の使用は控える
- ④次の症状がでた場合は、直ちに受診する

感染した人の約半数は、感染からおよそ3～8日後に頻回の水溶性便で発病し、さらに、激しい腹痛を伴い、まもなく著しい血便となることがあります。特に乳幼児や高齢者は重症化しやすいので、直ちに受診しましょう。

食中毒の3原則「ばい菌をつけない、増やさない、消滅させる」を日ごろから心がけましょう。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

御家老の江戸だより

奇遇な出会い

二月に横浜の中心地と東京・渋谷を直結する「みなとみらい線」が開通しました。所要時間三十五分間と乗り換えのない便利なアクセスにより、観光客が十パーセントも増えたそうです。

この新線を利用し、先日、友人と中華街で食事をし、近くの丘の上のイタリア山庭園を散策しました。その中にひととき美しい洋館が建っており、重要文化財「外交官の家」として紹介されていました。この洋館は明治時代に活躍された内田定雄(さだお)は外交官の邸宅として明治四十四年、渋谷・南平台に建てられたものです。孫にあたる宮入清・久子さんが妻が相続してお住まいでしたが、平成九年に横浜市に寄贈されたものです。



東京在勤中だった弟が奇遇な縁で宮入さん夫妻と懇意になり、二度も来新さる、拙宅を宿に最上、庄内

◆新庄藩江戸家老 門屋 盛孝さん
(元フジテレビ・ドキュメンタリー部長)

を観光されました。新庄では瑞雲院の御廟所を見学されたとき、宮入さんの学習院時代の恩師・戸澤富寿先生(戸澤家十一代藩主・戸澤正實公の次男)の祖先の墓所と分かり、偶然に恩師の墓参りができた喜びを卒業生の会報に寄せていました。

会報によると戸澤富寿先生は、学習院高等科、東京大学理学部を出られ、学習院で長いこと教鞭を執られ、ハンサムでダンディな人気の高い先生だったことや、戦争末期の昭和二十年五月に麻布材木町で被災され、隣の霞町で辛くも被災を免れた宮入家に一時停留されたこともあるそうです。宮入さんの墓参りは感慨一入だったことでしょう。また、富寿先生の三男・孝寿さんは東急車輛会長や横浜商工会議所副会頭の要職にあるのも奇遇です。
横浜・石川町駅近くの邸宅には当時の資料も展示しており、明治、大正時代にタイムスリップしたようでした。邸内から港を眺めているうち、新庄駅が開設した明治三十六年、後の町の発展ぶりを想像し、新幹線の開通にあやかっつて再び活況のある街にと念じています。

いきいき 新庄人

おいしいみそを 食べてもらいたい

今田カツ子さん(野中)

「わたしたちは、農家としてこだわって作った大豆や米と厳選した塩を使い、無添加で昔ながらの味、本当に納得のいくみそを作り食べてもらいたいと思っています。そう思ってやってきた3つの家族のがんばりがここまでになりました」と語る今田さんは、昭和62年から減反で作った大豆の消費拡大のため、みそ作りを思い立ち、同じ集落の仲間3家族で野中みそ生産組合を立ち上げました。

「みそは仕込んでから出来上がるまで約1年かかります。家庭の味としてのみそは作ってきましたが、商品として売り出すために約2年間、さまざまな種類の大豆やこうじ、塩を使ってみそを作り、何人にも試食してもらったり、検査機関に依頼し化学的に食味や成分を調査してもらいました。その試行錯誤の結果、金持豆と玄米をこうじに使った今の野中玄米みそができあがりました。

始めたころは、農家が加工食品を作り販売することは珍しく、みそはできても、包装や販売するための許可・販売方法などを知らないために多くの失敗を繰り返しました」とみそを商品化するまでの苦労を語ってくれました。

「みその仕込みは、雑菌の入らない冬の寒い時期、正月明けから3月までのほとんど毎日しています。忙しい時は作業所に泊り込んで作業を続けています。厳しい作業ですが、仲間たちとみそを作りながら世間話をして過ごす時間がなによりも楽しみです。最近は、ゆめりあや産直まゆの郷でも私たちのみそを売ってもらうことができ、青森や関西方面の方から、おみやげで買っておいしかったから送ってくださいと電話をもらったり、市内の方々からもおいしいと言ってもらえることが何よりうれしいです。最初は農家のじいさん、ばあさんの内職程度と考えていたことが、いろいろな良い体験をさせてもらいました。

たくさんの人に助けてもらって今があります。これからは、若い人たちが新しいことをやっいてこうとしていますので、温かく見守り、必要があれば、おばあちゃんの知恵をちょっと授けることができればいいなと思っています」とほほ笑みながら語る今田さんには、苦労を重ねてきた人の温かさがにじみ出ています。



▲みそ作りでの仲間との会話がなにより楽しみ

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲今年のテーマは「こどもの時代を考える」新庄藩校・明倫堂開講(6月11日/市民文化会館)



▲八森山登山道をボランティアで下刈り(6月19日)



▲51人が参加した市民登山(6月13日/秋田駒ヶ岳)



▲あじさい園のボランティア清掃(6月12日/最上公園)



▲「障がいを持つ人も持たない人も明るく住み良い地域を目指して」あじさいコンサート(6月19日/ゆめりあ)



▲歯の衛生週間イベント「お祭り歯っぴい」(6月5日/ゆめりあ)

生まれ変わった「明倫堂」

約200年前(天明年間)に七代藩主・戸沢正良が創設したといわれる新庄藩校・明倫堂。武士以外でも優秀な者を教育したと伝えられています。郷土の歴史・文化を学びながらまちづくりに役立てていこうと、市の講座として開講した新庄藩校「明倫堂」も今年で18回目。運営委員会が自主企画・運営し市が共催するという方式に生まれ変わりました。第1講座は「藩政時代の親子像」。今年は、「こども」をテーマに11月まで開講します。

ボランティアで登山道整備

神室山系の自然を守る会(代表/海藤清志氏)の会員が、年々増える登山愛好者のため登山ルートを確認しようと萩野登山口から一杯森・八森山までの登山道約7キロメートルの下刈りを行いました。その他の登山ルートも市内の登山愛好団体「最上山岳会」「自然に親しむ会」などがボランティアで下刈りを行っています。

あじさい園をきれいに

市の花アジサイを多くの人に楽しんでもらいたいと、あじさいを育てる会や有志など約50人があじさい園の除草・清掃作業を行いました。早朝の朝露に濡れながら約1時間の作業で集められた雑草などは軽トラック3台分。アジサイ見ごろの本番前に、あじさい園が見違えるほどきれいになりました。

いい歯でハッピー!

「歯の衛生週間」に合わせ新庄地区歯科医師会などが開催しているイベント「お祭り歯っぴい」に多くの親子連れが訪れ、にぎわいました。歯科医師や歯科衛生士によるフッ素無料塗布や歯科検診、ブラッシング指導、クイズ、「かやのみ会」による読み聞かせステージなど多彩な催しに、楽しく歯の大切さを学びました。



ISO14001 認証審査

企業・自治体などの組織が環境への負荷を減らし保全していくことを目的に、事業活動を自主的に管理・改善するための国際標準規格ISO14001。市は認証後2年目の定期審査を受けました。対象範囲の拡大や庁舎内の環境改善活動、省エネルギー・省資源活動、廃棄物の削減、ボランティア活動の拡大などに成果が見られると、総合で「向上」と評価されました。今後も一層の向上を目指し、環境にやさしい活動に取り組んでいきます。

響きわたる初夏の歌声

会場の全体合唱で始まった今年のサマーコーラスフェスティバル。新庄・最上の小学生の合唱団から大人のコーラスグループまで12組が、美しいハーモニーを披露しました。ステップを踏みながら歌ったり、カニの面をつけたコミカルな動き、親しみやすい童謡・歌謡曲も登場し、会場からは盛んに拍手が送られていました。



▲ISO14001 認証定期審査(6月23日～25日/市役所・施設)



▲ハンギングバスケット講習会(6月19日/すぽーていあ)



▲サマーコーラス・フェスティバル(6月26日/市民文化会館)



▲第26回東日本軟式野球大会2部で3位入賞を果たしたD・F・C(6月4日～7日/四日市市)

栄光をたたえて

■最上地区中学校総合体育大会

【バスケットボール】男子②日新女子①明倫②日新【ソフトテニス】男子/団体②明倫③新庄/個人③柿崎肇毅・笹一平(新庄)女子/団体②明倫③新庄【ソフトボール】女子①新庄【剣道】男子/団体③新庄A・日新A/個人②永井淳一郎(新庄)③武田和樹(新庄)女子/団体③新庄A・新庄B【サッカー】①萩野②新庄③明倫【バドミントン】男子/団体①新庄②日新③明倫/シングルス①高橋雅樹(新庄)②齋藤綱二(新庄)③佐藤潤也(新庄)千石哲也(日新)/ダブルス①星川恭平・高橋央(日新)③星川高晴・星川大地(新庄)渡部康太・小野和哉(新庄)女子/団体①日新②新庄/シングルス①森知宏(日新)/ダブルス①佐藤有純・矢作優季(新庄)②野川香奈・信夫愛実(日新)【卓球】男子/団体③新庄【柔道】男子/団体②明倫③新庄/個人48キログラム①齋藤直樹(明倫)55キログラム①叶内雄大(明倫)60キログラム②小倉文弥(明倫)③渡部

雄平(明倫)66キログラム③上野克(明倫)81キログラム①阿部剛大(新庄)③阿部有将(明倫)90キログラム②齋藤圭志(明倫)③西田統(日新)杉原佑太(明倫)90キログラム超①齋藤昭(新庄)②笹貴裕(日新)③金藤拓馬(日新)阿部匠(日新)女子/団体③日新/個人52キログラム②蒲倉千佳(明倫)③大場美咲(日新)57キログラム③星川美里(新庄)70キログラム①高山美咲(日新)70キログラム超③樋渡茜(明倫)【軟式野球】①新庄【水泳】男子/50m自由形①高橋寛人(明倫)②中鉢千晶(日新)③佐々木祐太郎(萩野)100m自由形①高橋寛人(明倫)②國分峻志(新庄)③中鉢千晶(日新)100m背泳ぎ①佐々木祐太郎(萩野)100m平泳ぎ①國分峻志(新庄)②加藤立隆(萩野)女子/100m平泳ぎ①石川咲(新庄)②田口雪香(新庄)【空手】形個人1年①伊藤巧貴(日新)②海藤佳奈(新庄)③伊藤真太郎(日新)2・3年①伊藤渚(日新)②土田ひかり(明倫)③伊藤謙(日新)組手/男子/団体①日新A②日新B/個人1年

①伊藤真太郎(日新)②草刈智貴(日新)③伊藤巧貴(日新) 2・3年①伊藤謙(日新)②杉山昂(日新)③荒川雅哉(日新)女子/団体①明倫②日新/個人1年①海藤佳奈(新庄)②大場美紀(日新)③芦野智恵(日新)庄司夏来(明倫)2・3年①伊藤渚(日新)②土田ひかり(明倫) ■第12回全国中学生空手道選手権大会山形県予選大会【形】男子/団体②日新女子/個人①伊藤渚(日新)②土田ひかり(明倫)【組手】男子/団体②日新/個人①伊藤謙(日新)女子/団体②日新/個人①土田ひかり(明倫)②伊藤渚(日新) ■第31回山形県老人ホーム輪投げ大会養護・軽費老人ホームの部①神室荘 ■第12回クリテリウム新庄大会【高校生の部】⑤菅隆人(新庄神室産業高) ■第18回文化財愛護川崎浩良賞受賞新庄民具研究会 ■山形県男女共同参画社会づくり功労者知事表彰 高橋シン(下田町)



ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

「ハリーポッターとアズカバンの囚人(吹替版)」
○7月30日(金)午後4時、午後7時 ○市民文化会館
○前売券 一般1,300円、中学生まで800円
○1回目のみ無料託児あり(要予約/28日まで)
◎新庄専門店会 ☎22-6833

募集

親子・子ども水泳教室

▼対象 ①小学3・4年生の親子(先着20人)、②小学3～5年生の児童(先着30人)
▼とき ①7月24日(土)～25日(日)、②8月2日(月)～4日(水)午前9時～11時30分 ▼ところ 市民プール ▼参加費 一人1,000円(保険料など)
▼申し込み 7月22日(木)まで
市民プール7月19日海の日
午後1時オープン
当日は無料開放します
▼利用期間 8月15日(日)まで
▼7月28日までの利用時間
平日/午後1時～6時、土・日曜日/午前9時30分～午後

ワクワク探訪会

～こどもの心を思い出せ～

- 対象 小学生と保護者(先着50人、子どもだけの参加可)
- とき 8月1日(日)午前9時～午後3時
- 集合 午前8時45分/歴史センター
- 内容 伝説と民話を訪ねる旅～大蔵・戸沢編
- コース 戸沢村幻想の森～さみだれ大堰～角川十二沢～肘折小松淵～ふるさと味来館～ブナの森
- 持ち物 昼食、水筒、筆記用具
- 参加費 1人500円
- 申し込み 7月26日(月)まで
- ◎詳しくは、ふるさと歴史センターへ。☎22-2188

6時～7月29日～8月15日の
利用時間 午前9時30分～午後6時
問 生涯スポーツ課
☎22-0681

夏休み親子 無料パソコン講座

▼対象 小・中・高校生と保護者(先着20組、子どものみも可)
▼とき 8月2日(月)～6日(金)午後1時30分～4時30分
▼ところ 新庄コンピュータ専門学校 ▼内容 オリジナルカレンダー作成、インターネットの活用など
問 新庄コンピュータ専門学校
☎29-2121

シニアワークプログラム 緑地管理講習

▼対象 57歳以上65歳未満の人(先着20人) ▼とき 8月5日
問 新庄地区フットサル委員会
☎22-1216

第13回 特別企画展

～松岡俊三代議士の
雪害救済運動と雪調の役割～

- とき 9月26日(日)まで(入場無料)
- ところ 雪の里情報館第5展示室

特別企画展連携シンポジウム

～松岡俊三の人間形成～

- とき 7月25日(日)午後1時30分～3時
- ところ 雪の里情報館雪国文化ホール
- ※入場無料で事前に申し込みが必要です。
- ◎詳しくは、雪の里情報館へ。☎22-7891

日(木)～11日(水)の平日5日間
午前9時30分～午後4時
▼ところ エコロジーガーデン
▼内容 刈払い機の作業実習
▼受講料 無料
問 シルバー人材センター
☎22-3065

ファミリーフットサル フェスティバル2004

▼対象 日本サッカー協会ラットサル個人登録をしている人ならどなたでも(先着32チーム)
▼チーム編成 10人以内で1家族または複数の家族で構成
▼とき 8月8日(日)
▼ところ すばーていあ
▼参加料 1チーム4,000円
▼申し込み 7月20日(火)まで
※協会登録は申し込み時にもできます
問 新庄地区フットサル委員会
☎22-1216

「産直まゆの郷」 土用まつり

- とき 7月25日(日)
午前9時30分～午後6時
- 内容 土用ドジョウ・夏野菜・トルコぎきょうなどの花・農産物の販売、食べ物屋台
- ◎先着200人に農産物をプレゼントします。詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課農林振興室 ☎内線261へ。

自宅がキャンパス 放送大学(10月入学生)

テレビ・ラジオを利用した正規の大学です。
▼説明会 7月18日(日)午前10時/市民プラザ
▼募集期間 8月31日(火)まで
問 放送大学山形学習センター
☎023-646-8806

グラウンドワークセミナー ちびっこ寺子屋PART1

▼対象 最上地区の小学生までの親子(30組)
▼とき 7月24日(土)午後4時～6時 ▼ところ エコロジーガーデン
▼内容 昆虫学習会とセミの幼虫さがし ▼持ち物 虫取りあみ、虫かご、筆記用具など
※直接会場へどうぞ
問 エコロジーガーデン
☎29-2122

障害者の雇用につなげる パソコン講座

▼対象 60歳未満の求職中の障害者 ▼講習期間 3～6週間程度(日程は相談可能)
▼ところ ばそこん寺子屋(沖の町)
▼内容 障害や個人のレベルに応じた、ワードやエクセル、インターネットの活用など
▼受講料 無料(テキスト代別途)
問 山形障害者職業センター
☎023-624-2101

世界のカプトムシ クワガタ展

▼とき 7月24日(土)～8月22日(日)午前9時～午後6時
▼ところ もがみ体験館
※毎週土・日曜日にカプトムシ

お知らせ

7月は社会を明るくする 運動強調月間です

社会を明るくする運動は、犯罪・非行を防止し、罪を犯した人や非行に陥った少年の更生を支える全国的な運動です。
◎詳しくは、生涯学習課へ。☎内線461



バルボンさんの絵本病院
 ~傷んだ絵本を修理します~
 ○とき 7月14日(水)午前10時~正午
 ○ところ 市立図書館
 ◎市立図書館 ☎22-2189

7月のお・知

相談など

こころの健康相談

- 対象 悩みを抱えている本人・家族
 - とき 7月28日(水)午後1時30分~4時
 - ところ 保健センター
 - 内容 専門医師による個別相談
 - 申し込み 7月26日(月)まで(予約制)
- ◎詳しくは、健康課健康推進室へ。
 ☎内線516

心配ごとと無料相談

- 弁護士相談 7月16日(金)
 (奇数月の第3金曜日/予約制)
 - 一般相談 毎月第2・4金曜日
 - 時間 いずれも午後1時30分~3時30分
- ◎いずれも老人福祉センターで行います。
 詳しくは、新庄市社会福祉協議会へ。
 ☎22-5797

福祉の仕事移動相談会

- 対象 福祉分野への就労を希望する人、福祉の仕事に関心のある人
 - とき 8月1日(日)午前10時~午後3時
 - ところ ゆめりあ会議室
 - 内容 就労の斡旋、求人情報の提供、求職者登録の受付、資格取得の相談
 - 申し込み 不要(直接会場へどうぞ)
- ◎参加無料です。詳しくは、山形県福祉人材センターへ。
 ☎023-633-7739

食の安全安心公開講座

- とき 7月28日(水)午後1時30分~4時
 - ところ 最上総合支庁講堂
 - 内容 「身土不二~産直で心がけていること~」JA金山夢市グループ・鈴木隆生氏ほか
 - 参加費 無料(事前に電話連絡が必要です)
- ◎詳しくは、最上保健所保健企画課(最上総合支庁)へ。
 ☎22-3571

絵灯ろう流し

- とき 7月28日(水)午後6時~8時
 - ところ 升形川(県立新庄病院そば)
- ※会場当日午後2時から先着200人に灯ろうを配布します。
 ◎雨天の場合は翌日行います。詳しくは、升形川に親しむ会・笹原へ。
 ☎23-0288

自衛官採用試験

2等陸・海・空士 ▼資格 18歳
 ~26歳 ▼受付 男子/9月8日まで、女子/8月2日~9月2日 ▼一次試験 男子/9月16日、女子/9月27日
 一般曹候補学生 ▼資格 18歳
 ~23歳 ▼受付 8月2日~9月2日

入国警備官採用試験

対象 昭和56年4月2日~62年4月1日生まれの人
 ▼受付 7月20日(火)~8月3日(日) ▼一次試験 9月26日(日)
 仙台入国管理局
 ☎022-2256-6007

外国からの電波によるテレビ受信障害

5月~8月ごろ、テレビの2チャンネルに外国の電波の混信のため「しま模様」が入ることがあります。ご迷惑をおかけします。
 NHK受信相談専用窓口
 ☎0570-0003434

神室ダム施設見学会

プレゼント(先着50人)
 ゆめりあ ☎28-8888
 とき 7月25日(日)午前10時~午後3時 ▼ところ 神室ダム(金山町) ▼内容 ダム湖ボート遊覧、魚のつかみどりなど
 ※直接会場へどうぞ
 最上総合支庁河川砂防課
 ☎28-7758

月8日 ▼一次試験 9月18日
 曹候補士 ▼資格 18歳~26歳
 ▼受付 8月2日~9月8日
 ▼一次試験 9月18日
 航空学生 ▼資格 高卒(見込み)~20歳 ▼受付 8月2日~9月8日 ▼一次試験 9月23日

採用制度説明会

とき 7月23日(金)午後2時~6時 ▼ところ ゆめりあ
 自衛隊新庄募集事務所
 ☎22-5057

フリーダイヤル 東北電力コールセンター

8月2日から全営業所の電話受付業務をコールセンターで一括受け付けします。
 ▼引越し・アンペア変更 0120-1175-266
 ▼停電 0120-1175-366
 ▼その他 0120-1175-466
 東北電力新庄営業所
 ☎22-1522

児童手当の支給対象年齢が変更になりました

児童手当法の改正により、児童手当の支給対象年齢が、義務教育就学前までから小学3学年修了前までに延長されました。
【就学児童の申請手続き】
 ○小学1年生の保護者 該当者には引き続き支給しますので手続きは不要です
 ○小学2・3年生の保護者 請求の申請が必要です
 ※所得要件は変更ありません。9月30日まで申請された場合は、4月分までさかのぼって支給します。
 ◎詳しくは、福祉事務所児童支援室へ。
 ☎内線547

「新庄市史」好評発売中!

分類	巻名	価格
本編(通史)	第1巻 自然・原始・古代・中世	4,500
	第2巻 近世(上)	4,500
	第3巻 近世(下)	4,000
	第4巻 近現代(上)	4,000
	第5巻 近現代(下)	4,000
本編(別巻)	自然・文化編	4,500
	民俗編	未定
史料編	上巻	7,500
	下巻	7,500

※市内各書店でも取り扱っています。
 ◎詳しくは、市史編さん室(市民プラザ内)へ。
 ☎22-4202

不審な電話や文書にご注意ください

社会保険事務所の職員を装った不審な電話や文書の送付が多発しています。

社会保険事務所では、個人情報を開き出すことも現金の振り込みを依頼することもありません。不審なことがありましたら、その場に対応せずにお問い合わせください。
 ◎新庄社会保険事務所へ。☎22-2050

「豊かな心をはぐくむ」

——新しい時代への人づくり——

今回は、自分たちで野菜を育て調理することを通して野菜への関心、自然の恵みや厳しさ、命の大切さや共同作業の楽しさなどを学ぶ体験活動に取り組んでいる学校の取り組みについて紹介します。

野菜が苦手な子どもたち

学校での子どもたちの給食の様子を見ると、野菜が多いメニューのときに残菜が多く、野菜というだけで抵抗を示す「食わず嫌い」のようなどころがあるようです。家庭での食生活を聞いてみても、子どもたちが好んで食べるのは肉料理や麺類が多く、野菜や果物はことのほか少ない傾向にあります。

また、せっかく自分の家に畑があっても、どんな野菜が作られているのか知らない児童がほとんどで、日常的にはテレビゲームが遊びの中心になってしまい、集団で協力しながら活動する経験も乏しいのが今の子どもたちの現状です。

おじいちゃんおばあちゃん

そこで、野菜を育て収穫し、調理する体験を通して関心をもたせると同時に、自然の恵みや厳しさを

命の大切さに気づかせ、友達と協力して働く楽しさなどを味わわせる目的で、体験活動に取り組んできました。

サトイモ苗の植え付けをしていた四年生の様子を見に中庭に出てみると「おいしいイモになってね」「早く大きくなってね」と、畝のあちこちから、子どもたちの声が聞こえてきました。

これは、畑の先生のおばあちゃんから「苗を植える時はやさしい言葉をかけてやると、大きく丈夫に育ってたくさんイモができるんだよ」と、教えていただいたからでした。

子どもたちが、小さな手でサトイモの苗を大事に大事に抱えている様子がとても印象的でした。

調理実習や芋煮会で有効活用

昨年度の一年生は、育てた枝豆を使って「じんだんだん」を、二



▲4年生のサトイモ苗の植え付け作業

年生は収穫したサトイモで芋煮会を、四年生のサツマイモは調理実習の材料に、六年生は採れたジャガイモを宿泊学習のカレー作りにと、どの学年も収穫した作物は有効に活用しました。普段の給食では、ジャガイモは嫌いと言っているしまう子ども、自分たちで育てた物は格別で、おかわりをくり返していたようです。

今年も全学年で、サツマイモやサトイモ、ミニトマト、ジャガイモなどさまざまな野菜を栽培しています。

四年ほど前から、中庭を畑に改良して始めた体験活動ですが、野菜作りには苦勞が伴い、その苦勞が多ければ多いほど収穫時の喜びが増してくるといふこと、手を抜けば抜いただけの物しか得られない自然の厳しさに、子どもたちが気づいてくれればと願っているところです。

(沼田小学校)

地名伝説

桜の下で馬を駆る

——桜馬場——

現在の新庄市街地が、明暦三年（一六五七）、新庄藩主二代正誠が行った城下町の大改造によってほぼ完成されたことは、既に何回か触れた。

この折（明暦年中）、神明町（現在の沼田町の一部）に松本の侍屋敷を移したので、そこを松本町と呼び、さらに、桜馬場は、松本町の分かれなので、松ヶ枝町と呼ばれていたことも前に触れた。

この馬場（乗馬の練習をする広場）は、貞享二年（一六八五）に新規に造営されたものである。「新庄古老覚書」に、新庄桜馬場の普請は、一万場町裏通り三の堀沿いに長さ百八十間、横十五間、前後を食い違いにし、左右の土手を築き、吉野桜を植えたので、年々見事に咲いている、というように書いてあるので、この土手の桜が見事になるに及んで、「桜馬場」と呼ばれるようになったものである。ちなみに、宝暦年間に作製されたと思われる絵



～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『全国まんがMAP』

今 秀生 著

「サザエさん」「ハットリくん」にあえる!!全国のまんが・アニメの美術館、記念館、専門ショップなどを紹介。「今度行って見よう」と思ってしまう本です。もちろん、見るだけでもとても楽しい。



● 今月のテーマ展示 ●

『宇宙・星』

七月は七夕。新庄市の真上を通るおりひめ星(ベガ)をさがしてみませんか。星座はこと座です。星と宇宙をテーマにいろいろなジャンルの本を展示しています。

新着図書

- ◆ ダ・ヴィンチ・コード 上・下ダン・ブラウン
- ◆ マツイの育て方 ―息子をプロ野球選手にする実践的方法― ...美山 和也
- ◆ 在日姜 尚中
- ◆ 亡き母や阿川 弘之
- ◆ 決定版!デューク更家のダイエット・ウォーキングデューク更家
- ◆ 輪違屋糸里 上・下浅田 次郎
- ◆ 「におい」と「香り」の正体...外崎 肇一
- ◆ シーボルトの眼 ―出島絵師川原慶賀―ねじめ 正一
- ◆ 運のつき養老 孟司
- ◆ 上海迷宮内田 康夫
- ◆ プリザーブ押花デザインレッスン金子 良子
- ◆ 映画行脚池波正太郎
- ◆ しなやかにしたたかに渡辺 淳一
- ◆ 乱歩賞作家白の謎鳥羽 亮
- ◆ 永六輔島のラジオ永 六輔
- ◆ 海怒(ハイヌ)上・下 ―東京黒社会群狼記―陳 放
- ◆ 親になる技術正高 信男
- ◆ Audrey Hepburn 一母、オードリーのことシヨーン・ハップバーン・フェラー
- ◆ 絶品・土鍋ごはんの炊き方小西 雅子
- ◆ スタイリストの泣き笑い日記麻生 ユキ
- ◆ 転がる猫に舌は生えないブルース・E. カプラン
- ◆ 高野優のおひさまランドセル ―エッセイまんが―高野 優
- ◆ いつか物語になるまで中上 紀

進路や生き方を考える

～高校生の職場体験学習～

新庄南高校では、三年前からさまざまな職場で体験学習を行っています。「自分が志す職業の体験を通して卒業後の進路や生き方について考える姿勢を養う、さまざまな人々との触れ合いを通して社会の一員としての自覚・礼儀作法・振る舞い・会話能力など社会性を育てるとともに広い視野で物事を考える姿勢を養う」ことをねらいとしています。

六月二十四日と二十五日の二日間、市役所でも二年生十人が職場体験学習を行いました。

その中で、総務課と企画調整課で職場体験した佐藤陽子さんが次のような感想を寄せてくれました。

ました。

「総務課では、外回りと郵便物の受付・仕分け作業などを体験しました。郵便物の仕分けは、なかなかスムーズにいかなくて時間がかかって大変でした。企画調整課では、新聞のスクラップ・パソコンでの文書作成・写真撮影・印刷現場の視察などを体験しました。広報紙やポスターができるまでの流れが見られてうれしかったです。また、大きな印刷機が何億円もするのに驚きました。

私は将来、公務員の仕事につきたいと思っていますが、この二日間の職業体験では普段できないことが体験できて、とても貴重な

ものになりました。二日間で学んだことを今後の活動に生かしていけるようがんばりたいと思います」



職場体験した生徒たちは、高校卒業後のそれぞれの進路希望に向かって努力していくことになります。

図などには「馬場」とのみ記されており、幕末ごろの絵図には「桜馬場」と記されている。

これらの絵図の何枚かには土手をもつ馬場が、万場町の通りと平行して、その南端からほぼ北端辺(神明神社の通り)までくっきりと描かれている。絵図からはわからないが、馬場の中ほどには茶屋もあり、馬場の排水をよくするために玉石を敷き並べていたともいう。もちろんここは家中(武家町)で、一般町人は入れないところであった。藩主や家臣たちは、ここで乗馬の練習に励んだのであろう。

(市史編さん室)

かつろく～思い出の四季～

せみすめ



学校も、夏休みに入った。こどもは休み中の生活設計などと、むずかしいことは考えない。ただ、友だちとあそぶことだけ考える。

今日は、せみすめにしようというので、網やもつち竿をもっていく。お宮に行く。せみの声は、方々から聞こえる。ジージーと鳴くせみなら、すぐ見つかる。少し離れたところに、『おつせみ』もいる。そっと足音をのばせ、木に近づく。網を持ち直すと、パツと飛ばれてしまった。おつせみをねらうと、人の気配を感じてかおしっこして、これにげられた。今日の獲物は、五匹だけだ。

ミンミンせみをすめたら、もう鼻高々。みんなに自慢するんだが、めったにいない。

庭には、小指大の丸い穴がいくつもあつた。さなぎの間は土の中。数年も過ごし、やっと穴から出て木に登り、成虫のせみになる。でも、夏を過ごせば死んで、蟻などの餌食になってしまう。はかない一生で、かわいそうだ。

絵 三條正美、文 笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

かむてん クイズ



「かむてん」は民話に登場する「神室の天狗」をイメージして新庄市出身の漫画家・富樫義博さんに描いていただいたものです。さて問題です。昭和59年に市の花に選ばれた花はなんでしょう。①バラ、②アジサイ、③ヒマワリ／はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥日報紙を読んだ感想など」を書いて、〒996-8501新庄市企画調整課市民協働広報室あて、7月26日まで応募してください。

ファクス 22-0989 / eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp



にぎわう観光サクランボ園

6月号の正解は「③昭和24年」でした。広報6月号を読んだ感想から紹介します。「いきいき新庄人」を読んで私もがんばらなければというパワーをもらいました。東京から山形に来て2年たちますが、正直、収入も減り楽しみも見つけられず、いつも東京に帰りたい気分でした。まだ、他人や街に対して何かをおこすパワーはありませんが、自分自身が前に進むパワーは出ました」7月号では、新庄イメージソングCD『あじさい』を20人にプレゼントします。

表紙の真実

18年目の結実 ～観光サクランボ園～

新庄でも果樹農業はできるはずと始めたサクランボ栽培。その中の一人、中川新一さん(往還)のサクランボ園で観光果樹園がオープン。これまでも販売はしてきたが観光果樹園は初めて。仙台、神奈川などから訪れた多くの観光客が、大きく甘く実ったサクランボ狩りを楽しみました。



5月末現在の新庄人

41,353人 (41,441人)

女 21,541人 (21,548人)

男 19,812人 (19,893人)

世帯数 13,492世帯 (13,341世帯)

5月の異動

出生 31人 (38人)

死亡 35人 (31人)

転入 54人 (89人)

転出 78人 (118人)

※ () は1年前の住民基本台帳